

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

SWCC 株式会社（証券コード:5805）

【新規】

長期発行体格付
格付の見通し

A-
安定的

■格付事由

- 大手電線メーカー。電線・ケーブルや接続部品などを取り扱うエネルギー・インフラ事業を基盤としている。また、主に自動車部品に使用される電装・コンポーネンツ事業、通信ケーブルや各種デバイス製品を手掛ける通信・産業用デバイス事業にも展開している。主力製品の高電圧電力ケーブル用コネクタ「SICONEX」は施工が容易であることや環境負荷が低いことなどを背景に民間企業の変電設備向けで極めて高いシェアを持つ。その他にも、無酸素銅線や高速通信 LAN ケーブルをはじめ競争力のある製品を有する。
- 収益基盤の強化が進んでおり、当面は堅調な業績が維持される見込みである。組織再編や生産体制の合理化、不採算事業からの撤退などに取り組んできたことで収益力が底上げされている。また、SICONEX は製品の優位性や高シェアを背景に高い利益率を実現しており、利益の柱となっている。今後は送配電網の増強や、再生可能エネルギー送電網整備およびデータセンターにかかる需要増加などに伴ってさらに SICONEX の販売数量が増える見通しである。加えて、電力向け以外でも需要拡大が見込まれる製品を多く抱えており、拡販の進展によってもう一段利益が押し上げられると考えられる。過年度の好業績を受けて有利子負債の削減および自己資本の拡充が進展し、財務内容は良好な水準にある。以上より格付を「A-」とし、見通しを安定的とした。
- さらなる収益力の強化に向けた取り組みが着実に進んでいる。SICONEX の需要拡大に対応すべく生産能力の増強や施工人員の育成を行っている。電装・コンポーネンツ事業ではモーター内部で使用される高機能巻線やシート用のヒータ線をはじめとする川下分野に展開することで付加価値が高まり、収益性の改善が見込まれる。通信・産業用デバイスは家電向けの販売が苦戦しているが、車載用途など拡販の余地が大きい分野に注力することで利益が底上げされるとみられる。
- 25/3 期営業利益は 205 億円（前期比 59.9%増）と 2 期連続で過去最高益を更新する計画である。原材料価格や物流費が上昇しているものの、販売数量の増加や製品価格の改定などによる効果が上回るとみられる。26/3 期以降も増益基調が続く見込みである。電力や電動車、通信向けなどの需要拡大に伴って各事業で拡販が進み、利益を押し上げると考えられる。
- かつては収益力が低く最終赤字を計上する局面もみられたことから、財務内容は課題が残る水準にあった。しかし、17/3 期以降は利益の向上を受けて有利子負債の削減および利益蓄積が進み、DER は 16/3 期末の 2.3 倍から 25/3 期第 2 四半期末の 0.5 倍に改善している。今後は生産能力の増強に加え、成長投資として M&A も検討しており、有利子負債が増える見込みである。一方、好業績を背景に引き続き自己資本が増加する見通しであるほか、資産売却によるキャッシュインも見込まれ、現状程度の財務構成は維持可能とみられる。

（担当）水川 雅義・近藤 昭啓

■ 格付対象

発行体：SWCC 株式会社

【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2024年11月15日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：水川 雅義
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） SWCC 株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与に係る手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

■ NRSRO 登録状況

JCRは、米国証券取引委員会定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル